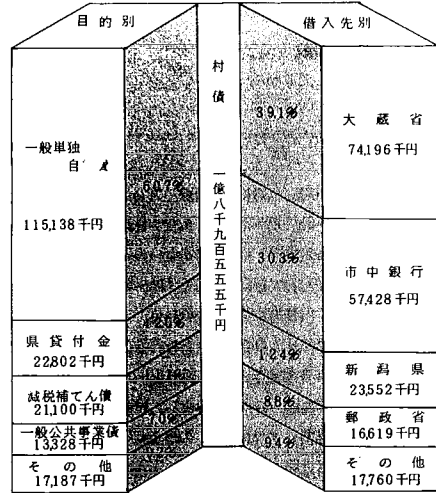


特別会計

上越新幹線	歳入	33,394千円
	歳出	30,475千円
	差引	2,919千円
国土開発	歳入	22,368千円
	歳出	19,663千円
	差引	2,705千円
国土補償	歳入	115,724千円
	歳出	114,519千円
	差引	1,205千円

※ 上越新幹線会計の決算額には、繰越明許費 27,580千円を含みます。

村債の現在高



村民1人当たり村債の現在高4万9千5百円です。

歳出と1人あたり負担額及び行政経費のようす



総額 5億 4,329万円
村民1人当たり 141,927円

村民一人あたりの村税負担額は一万六千五百二十円
村民一人あたりの行政費用は十四万一千九百二十七円
(人口は五十二年四月一日現在の総人口にしました。)

固定資産税	村民税	タバコ消費税	電気税	軽自動車税
7,791円	5,792円	1,700円	801円	418円

皆さんが納められた村税は村民1人あたり16,502円です。これを税目別によると上記のとおりとなっています。

村の台所も大変でした

歳入 5億6,173万円
歳出 5億4,329万円
差引 1,844万円の黒字

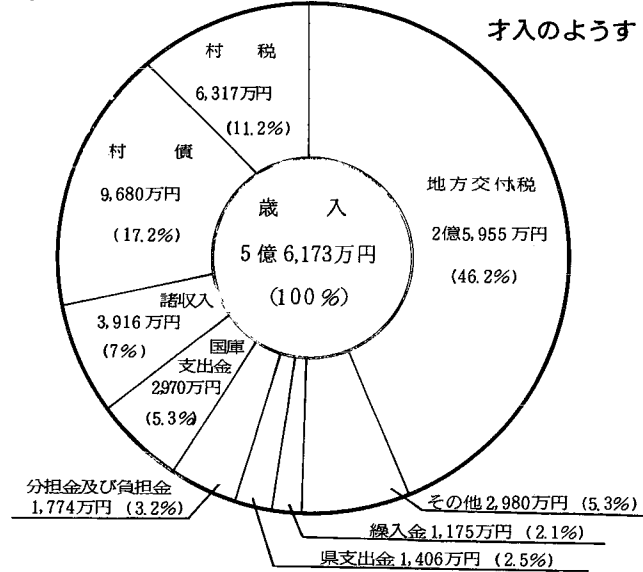
昭和51年度一般会計決算

才出の面では、庁舎建設年度でもあり、生活、生産基盤の充実や福祉、教育などに留意しながらも消費的経費の節約を進め、重点的な財源の配分に努めました。この結果、投資的経費(普通建設事業など)に一億三千八百七十七円(前年度比〇・七パーセント増)。

才入

一般財源(何にでも使えるお金)の大きな柱である地方交付税は二億五千九百五十五万円で収入全体の四六・二パーセントを占め、前年度に比較して四・七パーセントの伸びに止まり、村税も六千三百六十四万円で前年比一八・二パーセントの伸びは少なく、非常に苦しい財政状態でした。又、庁舎建設や土木事業などに向けられた起債(借金)は、九千六八〇万円で、前年度比で二三〇・四パーセントと増になりました。その他の国庫支出金や諸収入などを合わせると、才入総額は五億六千一七三万円となり、前年度より二五・八パーセント増えたこととなります。

才入のようす



人件費、物件費などの消費的経費は三億二千七十九万円(前年度比一・七パーセント減)で、才出合計は五億四千三二九万円です。

村の財政のようす

土地の総面積	57,398㎡	基金積立	
建物の総面積		○国保給付準備基金	345千円
木造の延面積	9,158㎡	○庁舎建設基金	45,831千円
非木造の延面積	2,162㎡	○土地開発基金	33,368千円
有価証券社債券	280千円	○財政調査基金	5,000千円
出資による権利	1,515千円		

